

令和7年度大隊訓練検閲

大隊は令和7年度大隊訓練検閲を受閲した。作戦機動から始まり、5夜6日矢白別演習場で行われた。昼夜の気温差が10度以上のなか、各隊員は、任務完了のため、奮闘した。



大隊長要望事項

「あ・た・ま」
あかるく、たのしく、前むきに



(発行) 7施大くろがね会
(編集) 7施大第1係広報
TEL0123-23-5131(内2618)

【印刷所】
千歳印刷株式会社
千歳市錦町3丁目3番地
TEL0123-23-2229

出陣式



出陣式の集合写真



くろがね会からの激励



各中隊長による決意表明

大隊長統率方針

「任務必成」

大隊長要望事項

「物心両面にわたる即応態勢の保持」

隊容検査



装備の点検



大隊長訓示



火器点検

状況間の行動



集結地警戒



指揮所活動



師団退避壕「ソイルアーマー」の構築

新着任者紹介

《本部管理中隊》
 1等陸曹 福原 正宣
 令和7年8月1日上番



座右の銘
 「明るく前向き+親切心」

《第2中隊》
 陸曹長 鈴木 謙二
 令和7年8月1日上番



座右の銘
 「七転び八起」

新着任先任上級曹長紹介



西森1尉 略歴

- S 57.11.25生(43)
- H 25. 4 一般幹部候補生
- 26. 3 3尉任官
- R 4. 3 15施設中隊配属
- 4. 3 15施設隊本部配属
- 7. 8 現職

要望事項

「職務の完遂」

第39代 本部管理中隊長
 1等陸尉 西森 規明



先任上級曹長交代式



大隊長による紹介

転入行事



転出行事



上番中隊長挨拶



下番中隊長 岩城1尉

各中隊 訓練写真



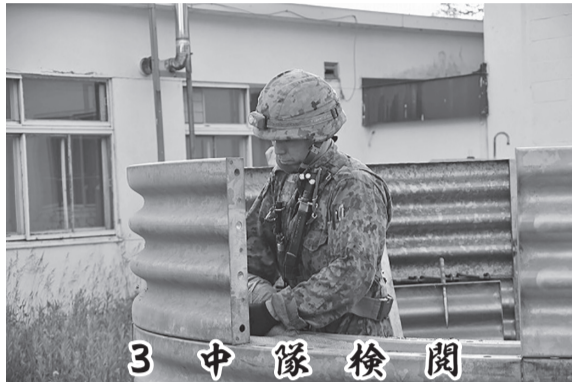
本管中隊訓練



1中隊検閲



2中隊検閲



3中隊検閲



4中隊小隊検閲

くろがね会事務局便り

くろがね会副会長挨拶



新くろがね会副会長

坂本 雅人

平成7年4月1日付で、くろがね会副会長に上番しました阪本雅人です。大変重要な責務ではありますが、精いっぱい努力してまいります。では私の経歴について紹介したいと思います。

生まれは昭和36年6月9日旭川で生まれ、昭和47年4月自衛官である父の転勤で、札幌に移動しました。苗穂の母の実家に4か月、真駒内の官舎に転居しました。昭和51年4月少年工科学校へ入隊、昭和54年卒業、中期校・施設学校へ入校、11月卒業して一般部隊へ配置、一般部隊最初の勤務地は、四国香川県善通寺第8施設群でした。人事幹部からの面接で、お前は直ぐにでも北海道に帰れると思っているだろうがそうはいかない。帰りたいなら幹部になって自力で帰れと言われましたが、住めば都で楽しく暮らしていました。昭和63年4月幹部合格、10月幹部学校入校、昭和64年1月昭和天皇崩御、同期は方面を異にする異動希望を出すように言われ、平成元年3月、全国に散らばり、私は希望どおり、第7施設大隊第2中隊、平成4年8月第71戦車連隊施設小隊長に上番、平成6年4月に第7施設大隊4中隊、副中隊長、平成7年3月本管中隊整備小隊長、平成8年3月、第3係運用訓練幹部、平成9年3月第1中隊長、平成11年8月第2係主任、平成12年3月第1係主任、平成15年3月第1施設群坑道中隊長、平成16年3月13施設群坑道中隊長、平成17年3月帯広地方連絡部募集課募集班長、平成18年8月自衛隊帯広地方協力本部、平成19年8月北部方面総監部調査(情報)平成23年4月北海道補給処装備計画課平成25年3月第7施設大隊、第7師団司令部施設課運用幹部、平成27年6月定年退官、定年後は、苫小牧市にある(株)松本鐵工所本社業務部で勤務しております。

苫小牧にお立ち寄りの際は、社内をご案内します。なお、中途採用でも募集しておりますので、奮ってご応募下さい。

くろがねパークゴルフ結果

くろがね会は、パークゴルフ大会を5月から8月までの間で、実施しました。各会の結果は、次のとおりです。

第1回	
5月31日(土)	
つばさ	
参加者8名	
第1位	相川 元 102
第2位	竹中 一夫 106
第3位	安東 信一 109
第4位	増永 正明 111
第5位	藤原 實 113

第2回	
6月29日(日)	
遺跡	
参加者10名	
第1位	相川 元 109
第2位	根本 幸吉 114
第3位	山口 豊 115
第4位	安東 信一 113
第5位	増永 正明 128

第3回	
8月24日(日)	
アンカレジ	
参加者10名	
第1位	相川 元 105
第2位	竹中 一夫 122
第3位	根本 幸吉 125
第4位	安東 信一 126
第5位	藤島 修 127



◀第1回大会と第3回大会の記念撮影の様子

表彰

【北部方面總監】

第3級賞詞 (職務遂行) 原 大輔
第2中隊 1等陸尉

【師団長表彰】

第4級賞詞 (職務遂行) 金山 祐介
本管中隊 1等陸曹

【大隊長表彰】

第4級賞詞 (業務改善) 堀内 祐太
本管中隊 1等陸曹

第4級賞詞

第2中隊 准陸尉 高橋 和暁
第4中隊 1等陸曹 三上 耕平

第5級賞詞

第4中隊 1等陸曹 葛西 将明
同 2等陸曹 大山 悟



【北部方面總監表彰】

第4級賞詞 (隊員自主募集) 本管中隊 陸士長 老田 亜希
第5級賞詞 (隊員自主募集) 本管中隊 2等陸曹 城間 良太

同 陸士長 坂中 一考
同 陸士長 赤井 悠輝
(令和7年7月31日付)



人事往来

転出

転入

北海道補給処苗穂支所(苗穂)へ

大隊本部 1等陸尉 高橋 惣由

高等工科大学(武山)へ

本管中隊 1等陸尉 岩城 雅嗣

北部方面總監部(札幌)へ

大隊本部 1等陸尉 境 和彦

第71戦車連隊(北千歳)へ

第2中隊 2等陸尉 浅井 喬晴

札幌地本千歳恵庭地域援護センター(北恵庭)へ

第2中隊 曹 長 高橋 和暁

北千歳駐屯地業務隊(北千歳)へ

本管中隊 准陸尉 小川 利樹

北恵庭駐屯地業務隊(北恵庭)へ

本管中隊 1等陸曹 安藤 晃

第7師団司令部付隊(東千歳)へ

本管中隊 1等陸曹 堀内 祐太

幹部候補生学校(前川原)へ

第2中隊 1等陸曹 國島 啓志

補給統制本部(十条)へ

第4中隊 1等陸曹 葛西 将明

中央即応連隊(宇都宮)へ

第4中隊 1等陸曹 三上 耕平

第1施設大隊(朝霞)へ

本管中隊 2等陸曹 黒瀬 紳才

第8施設大隊(川内)へ

本管中隊 2等陸曹 山内 勇作

第3中隊 2等陸曹 三山 祐司

第6施設大隊(神町)へ

第2中隊 2等陸曹 上妻 広紀

第4中隊 2等陸曹 大山 悟

第7師団司令部付隊(東千歳)へ

第4中隊 3等陸曹 香西 和哉

第1施設大隊(朝霞)へ

第4中隊 3等陸曹 高橋 侑真

第3中隊 3等陸曹 香西 和哉

第7師団司令部付隊(東千歳)へ

第4中隊 2等陸尉 浅井 喬晴

防衛大学校(横須賀)から

第4中隊 2等陸尉 加藤 哲志

滝川駐屯地業務隊(滝川)から

本管中隊 准陸尉 栗橋 哲朗

第7施設群(大久保)から

第3中隊 1等陸曹 波並 秀平

奄美警備隊(奄美)から

第4中隊 2等陸曹 福多 智幸

第7師団司令部付隊(東千歳)から

第3中隊 2等陸曹 市場 亮次

第4施設大隊(大村)から

第1中隊 2等陸曹 田向 裕一

第12施設隊(新町)から

第4中隊 2等陸曹 八木 将太

第5施設群(高田)から

第5施設群(小郡)から

第4中隊 3等陸曹 石井 宏樹

第1中隊 3等陸曹 基山 雅彦

第6施設群(岐阜)から

第2中隊 3等陸曹 武内 蓮恩

第5施設隊(鹿追)から

第2中隊 3等陸曹 平村 一晋

第10施設大隊(春日井)から

第1中隊 3等陸曹 末木 佑弥

第3中隊 3等陸曹 香西 和哉

第7師団司令部付隊(東千歳)へ

第4中隊 2等陸尉 浅井 喬晴

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

防衛省 退職後 団体 傷害 保険

令和7年度定年退官



令和7年8月10日付 中尾 3尉



令和7年8月25日付 税田 3尉



令和7年9月1日付 山岸 曹長

大隊一丸となって 益々の発展を 祈念申し上げます。

くろがね会・隊員・御家族の 御発展と御健勝を 祈念申し上げます。

情報募集中

自衛官採用年齢上限が、32歳になりました。 親類縁者やご友人等で、自衛隊に入隊・入学、再任用を希望する方又は自衛隊に関心があり応募の可能性があるとされる方はいませんか？ 既知の隊員を通して、又は第1係 援護・広報担当まで連絡をお願いします。

問い合わせ先 第7施設大隊第1係援護・広報 電話番号 012312315131 (内線2618)

第7施設大隊HP & SNS 随時更新中です!! https://www.mod.go.jp/gsdf/nae/7d/hensei/team/e/7e.html

防衛省 退職後 団体 傷害 保険 防衛省 退職後 団体 傷害 保険 防衛省 退職後 団体 傷害 保険

プロ集団の総合力。わたしたちがご案内します。 ecoaHOUSE エコアハウス 0120-018-935